

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
在宅支援論		BNSS3L20	30301	2前	2(30)	必修
担当教員	和田 恵美子	実務歴	有	看護師として病院に5年勤務 訪問看護師として9年勤務		
担当教員	武田 未央	実務歴	有	看護師として病院に7年勤務 保健師として行政機関に5年、NGO職員として2年勤務		
担当教員	内貴 千里	実務歴	有	看護師として病院/訪問看護ステーション等に 12年勤務		
概要	在宅看護の変遷やその社会背景をはじめ、在宅看護の目的・基本的な理念や関連する概念を学ぶ。在宅看護の対象者の特性と支援のあり方、ならびにその支援の基盤となる訪問看護制度を学ぶ。さらに、在宅ケアにおけるケアマネジメントや地域包括ケアシステムの基本、関係機関・職種との連携の必要性、社会資源を学ぶ。					
学修目標	1)日本の在宅看護の変遷とその社会的背景について説明できる。 2)在宅看護の目的と基本理念について述べるができる。 3)在宅看護の対象者の特性とその支援について述べるができる。 4)在宅ケアを支える制度や社会資源を説明できる。 5)在宅ケアにおけるケアマネジメントや関係機関・関係職種間の連携を説明できる。 6)現在の訪問看護制度の基本を述べるができる。					
DPとの対応	知をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	◎
	探求力と生涯学習能力	○	ケアリングとコミュニケーション	○	適切な看護実践	○
回	学修内容			予習・復習内容(番号は教科書)		
1	在宅看護の概念①:在宅看護の背景			P10-16 講義前後に読む		
2	地域療養を支える在宅看護の役割					
3	在宅看護の概念②:在宅看護の展開			P2-6, P20-24 講義前後に読む		
4	在宅看護における倫理					
5	在宅療養者と家族の支援①:訪問看護の対象者			P26-39 講義前後に読む		
6	在宅看護の対象者と在宅療養の成立要件					
7	在宅療養者と家族の支援②:家族のとらえ方			P39-50 講義前後に読む		
8	在宅療養者の家族への看護			自分と家族の生活をまとめる。		
9	地域包括ケアシステムにおける在宅看護①:看護師の役割			P7-24 講義前後に読む		
10	地域包括ケアシステム					
11	地域包括ケアシステムにおける在宅看護②:療養の場の支援			P104-109 講義前後に読む		
12	地域包括ケアシステムにおける多職種連携			多職種の役割を理解する。		
13	地域包括ケアシステムにおける在宅看護③:ケアマネジメント			P100-104 講義前後に読む		
14	介護保険制度におけるケアマネジメント、サービス担当者会議			ケアマネージャーの役割を理解する。		
15	地域療養を支える制度①:社会資源の活用			P76-84 講義前後に読む		
16	医療保険制度、後期高齢者医療制度			各保険についてまとめる。		

17	地域療養を支える制度②:介護保険制度	P84-90 講義前後に読む
18	生活保護制度	
19	地域療養を支える制度③:障害者に関連する法律	P80-84 講義前後に読む
20	難病法	
21	地域療養を支える制度④:子どもの在宅療養を支える制度	
22	在宅療養者の権利を擁護する制度、高齢者施策	
23	課題:地域包括支援センターの構成要素と仕事をまとめる	自分の住んでいる地域の情報収集をする。
24	地域包括ケアシステムの間	
25	障害を持って社会で暮らすとは	各種の社会資源をまとめる。
26	障害を持って社会で暮らすとは	
27	在宅療養を支える訪問看護①:訪問看護の特徴	P90-98 講義前後に読む
28	訪問看護ステーション	
29	在宅療養を支える訪問看護②訪問看護サービスの展開	P98-100 講義前後に読む
30	訪問看護における看護過程の特徴、訪問看護の記録	
使用 テキスト	在宅看護論 医学書院 2020年	
参考図書	ナーシンググラフィカ 在宅看護論①地域療養を支えるケア メディカ出版 2020年 その他、講義内で紹介する。	
成績評価 基準	定期試験 70%、課題 20%、発表10%	